

アジェンダ21すいた 会議録

作成者：八木

会議名	幹事会
日 時	令和4年5月31日（火） 16：00～17：30
場 所	オンライン開催(ZOOM)
出席者(敬称略)	幹事：三輪信哉、水川晶子、福井一彦、荒堀尚、 馬場慶次郎、池淵佐知子、小田信子、 事務局：小山、篠田、田中、八木
欠席者(敬称略)	藤田和則、辻村光高、馬場多佳子
議事次第	1 R4新規事業案について
配布資料	●幹事会次第
	●資料 1-1 新規事業案まとめ
	●資料 1-2 食ロスと資源部会の合同企画（パネルディスカッション）
	●資料 1-3 企画書（市民環境会議）
	●資料 2 新規事業案に対する意見一覧
	●追加資料 1 食ロス新規企画
●追加資料 2 マイクロプラスチックストーリー	
議事内容	<p>1 R4新規事業案について 資料 1-1 に記載の各新規事業案について議論した。</p> <p>■No.1 「産業フェア」へのブース出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先日の COP26 報告会で様々な PR の方法が考えられるという意見が出た。産業フェアへの出展に限らず、一般市民向けの啓発イベントに名称変更したい。 ・内容についても産業フェアへの出展や映画上映会の開催等が考えられる。 ・他の部会も出展できるのか。⇒ブースが狭いので難しい⇒それならやめとく。 ・産業フェアへの出展の費用対効果には疑問に残る部分がある。産業フェアに限る必要はないのではないか。 ・産業フェアはあくまで選択肢の一つ。啓発の方法については検討し、その結果として産業フェアになるのであれば、それはそれで良い。 <p>⇒本事業案の内容については、「市民向けの啓発イベント」といったより幅を持たせた内容に修正する。そのうえで、本案については承認された。</p> <p>■No.2 「じぶん発電所」組み立て材料費の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人当たり、1万7千円程度かかる。ウクライナ情勢等で材料費が高くなっているのも影響している。そういった面も踏まえて、補助できればと考えた。 ・市民環境会議での会議では賛同意見が多く出ていた。幹事会では反対意見を出していたが、撤回する。 ・補助をするからにはアンケートや発電実績の提供依頼といった、参加者への後追いが必要だと思う。 ・「じぶん発電所」組み立て講座はエネルギー部会と市民環境会議との共催になった（広報等での連携）。 <p>⇒本案については承認された。</p> <p>■No.3 地域通貨・ポイント制度などの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的にイベントや事業を立ち上げるものではなく、まずは検討するためのもの。 <p>経費の5000円については、交通費等の経費を計上したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5,000円で足りるのか？⇒収めるようにしたい。

・今は紙よりデジタルの地域通貨の方が勢いがある。デジタルでやっているところを先進事例として参考にされてはどうか。
⇒本案については承認された。

■No.4 NATS クールアースウィーク検討

・NATS 各都市の団体とも交流している。クールアースウィークをNATS 全体で呼びかければ、参加してもらえないのではないかという観点から企画した。
・こちらの経費も同様に交通費等を見込んだもの。
⇒本案については承認された。

■No.5 パネルディスカッション（「食」でつながる私たちの未来）

・本案については取り下げて、以下の代替案について検討。

（1）B 級食材の販売に関する調査研究

・B 級食材（野菜や加工食品などの通常の販売ルートから外れるもの）の販路について、関係者にヒアリングの上、検討するもの。

・B 級食材はアジェンダで販売するのか？

⇒まずはアジェンダで販売するのかもしれないが、最終的にはアジェンダとは別の販売ルートにすることを想定している。

・他事例あるのか？

⇒他事例については、不明である

・地産地消との関係は？

⇒地産地消にはなると思う。他の地域のものを販売することは考えにくい。

・どのように進めるべきか見えない点もあるが、どういことができるのか、まずは関係者からヒアリングして考えたい。

・吹田市の地産地消を考えるのなら、生産者としっかり話し合う必要がある。場合によっては、出荷までの作業の協力を求められることもある。例えば、収穫した作物を洗浄して、出荷できる状態に整えることも案外大変とのこと。なので、しっかり話し合っておく必要がある。

⇒本案については承認された。

（2）マイクロプラスチックをテーマにした映画の上映会

・プラスチック問題を扱った映画の上映会（上映費：\$200）

・上映時期は？⇒特には考えていない。⇒場合によってはクールアースウィークのチラシにも入れ込むことも可能なので、検討いただきたい。

⇒本案については承認された。

■No.6 ファストファッションの環境問題を取り上げた映画の上映会+参加型ワークショップ

・ファストファッションの環境問題を取り上げた映画

・市民環境会議だけでは中々若い人が集まらない。クールアースウィークの時期に合わせてできればと考えている。

・経費は市民環境会議持ちか？⇒そうである。チラシについても同様。それとは別途、クールアースウィークのチラシに本イベントを掲載してほしい。

・アジェンダ21すいた名義で申請すれば公用申請可能だが、そもそも公用申請のルールはあるのか？すいたクールアースウィークの賛同団体なら何でも良いのか？共催なら何でもよいのか？

⇒この場では結論出せないが、賛同団体なら不可、共催なら可能という切り分け方がある。

⇒すいた市民環境会議はアジェンダの団体会員なので、公用申請しても良いと思う。

⇒団体会員のメリットとして、公用申請可能ということも打ち出せるかもしれない。

	<ul style="list-style-type: none"> • 本事業については、団体会員としての事業、共催事業であることから、公用申請可能としたい。公用申請について、どういうルールで扱うのかについては、別途検討が必要。次回幹事会で検討したい。 • 上映経費、チラシについては、資料上はアジェンダ負担で書かれているが、市民環境会議負担で良いか？⇒それでよい。 • 会場の公用申請にあたっては市民環境会議で空いている会場と日時を見繕ったうえで、事務局にて申請する。 • 議案書への掲載については。すいたクールアースウィークの 1 イベントとして扱う。活動計画には特に記載せずに、活動報告の中ですいたクールアースウィークの 1 イベントとして実施結果を掲載する。(R2.11.1 に実施した「神崎川河畔プラごみゼロアクション～海洋プラスチックごみを減らそう～」(市民環境会議、アジェンダ共催)と同じ扱い) ⇒本案については承認された。
<p>次回日程</p>	<p>令和 4 年 6 月 13 日 (火) 10 時から 12 時 (予定) オンライン予定</p>